

部分サイディングのハッチング模様の登録方法

文書管理番号：1066-02

Q. 質問

外部意匠配置の部分サイディングで、選択項目にないハッチング模様を配置したい。

A. 回答

外部意匠配置で配置した部分サイディングのハッチング模様は、立面図や 3D パースの線画に反映されます。



* パースの線画出力は、「1/100 平面図」機能が含まれるシステムで行えます。

部分サイディングの選択項目にない模様は、任意に登録して使用することができます。

図面編集でハッチングのパターン（PDT ファイル）を作成・登録し、それを部分サイディングのハッチングとして登録します。

ここでは、150mm 間隔のハッチング縦模様を「縦張り@150」のサイディングとして登録する方法を説明します。

操作手順① 図面編集でのパターン登録方法

● ハッチングを作成

①  (クイックメニュー)またはメインメニューから、 (図面編集)をクリック

* ポイントモードは、 (オングリッド)にします。

ポイントバーのアイコンをクリックするたびに、 (オンエッジ)・ (フリー)・ (オングリッド)と、3種類のモードが切り替わります。

* グリッド間隔は「910」、縮尺は「1/100」とします。

グリッドが表示されていない場合は、 (グリッド)をクリックして表示、または「設定」⇒「グリッド」から「グリッドを表示」にチェックを入れてください。

② ハッチングアイコンにマウスを合わせ、 (ハッチング)をクリック

* 「作図」⇒「ハッチング」⇒「ハッチング」と選択してもかまいません。

* ハッチング範囲指定の画面が表示されます。

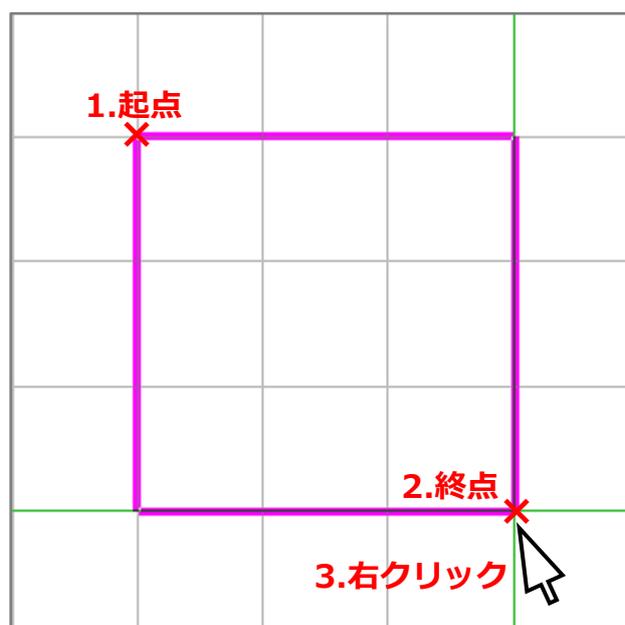
③ 「矩形範囲」をクリック



④ 起点—終点でハッチングを入力する範囲を設定後、右クリック

* ここでは、縦・横とも3グリッドで範囲を指定します。

* 再度、ハッチング範囲指定の画面が表示されます。

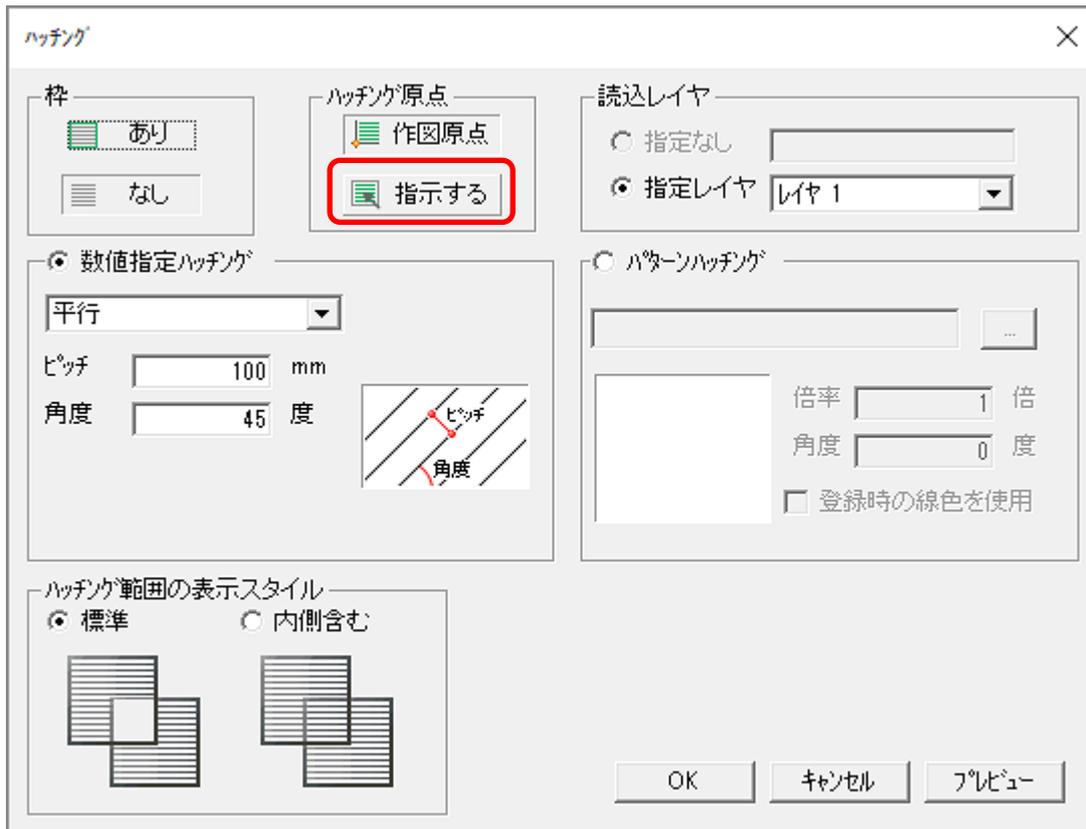


⑤ 「範囲確定」をクリック

* ハッチングの設定画面が表示されます。



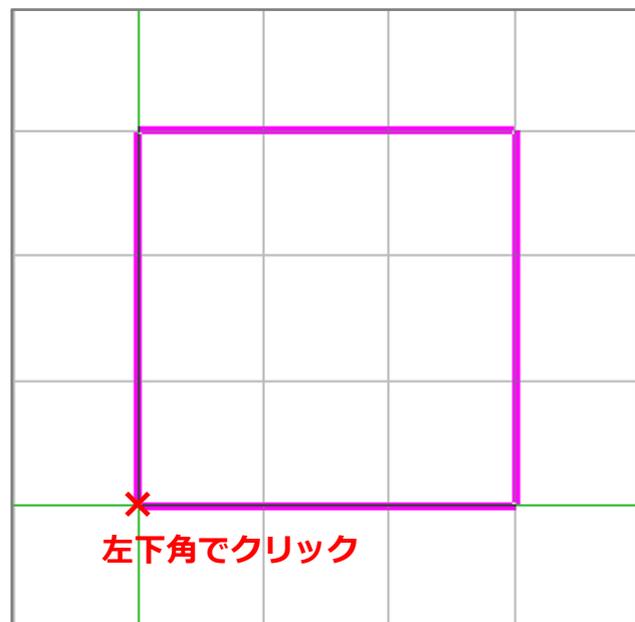
⑥ ハッチング原点を「指示する」に変更



* ハッチング原点を変更すると、設定画面が閉じ、ハッチングの原点位置を指定する入力モードになります。

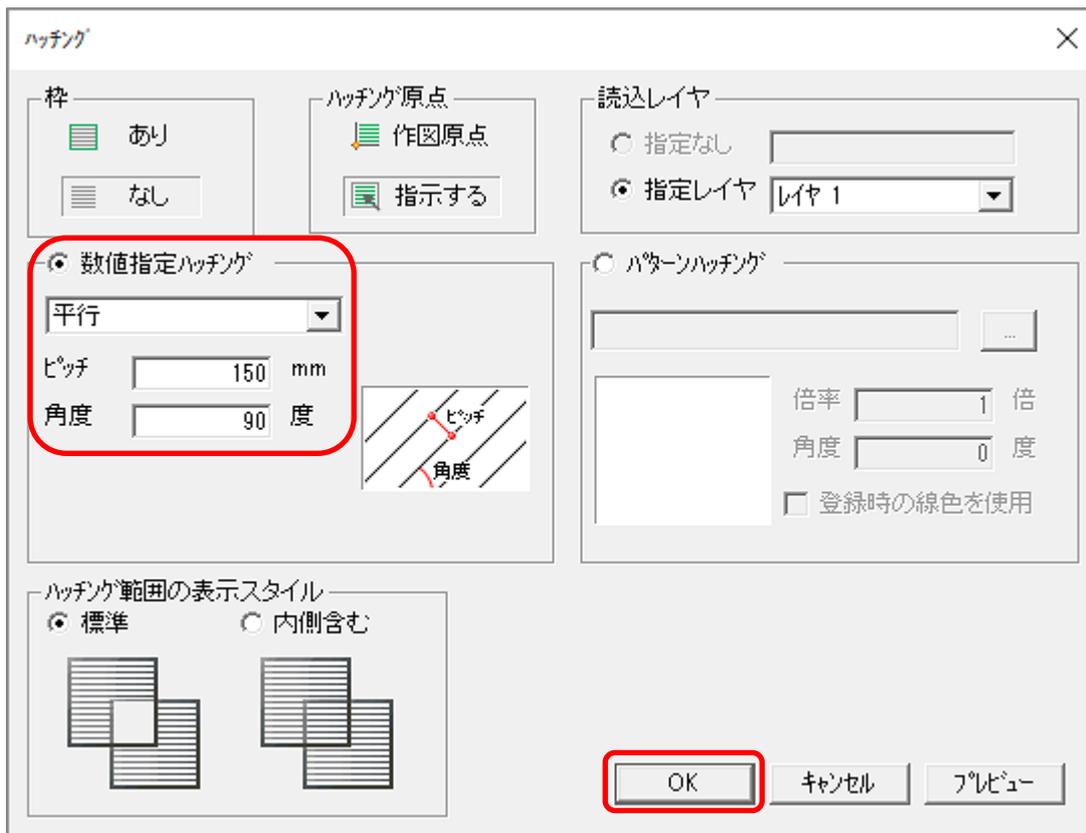
⑦ P.2 操作④で入力した範囲の左下角でクリック

* 再度、ハッチングの設定画面が表示されます。



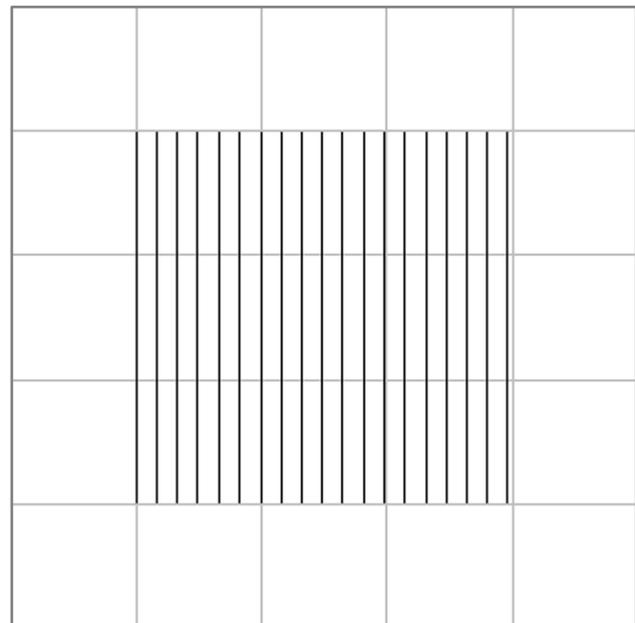
⑧ ハッチングの数値を設定

- * 数値指定ハッチングの種類を「平行」に、ピッチ「150」mm、角度「90」度に設定します。



⑨ 「OK」をクリック

- * 指定した範囲に、指定した位置から設定したピッチと角度で、ハッチングが入力されます。



● ハッチングを分解

作成したハッチングは、ひとまとまりの要素になっています。この状態では、ハッチングパターンとして登録ができませんので、ハッチングを一つ一つの要素に分解します。

- ①  (要素指示)をクリックし、入力したハッチングをクリック

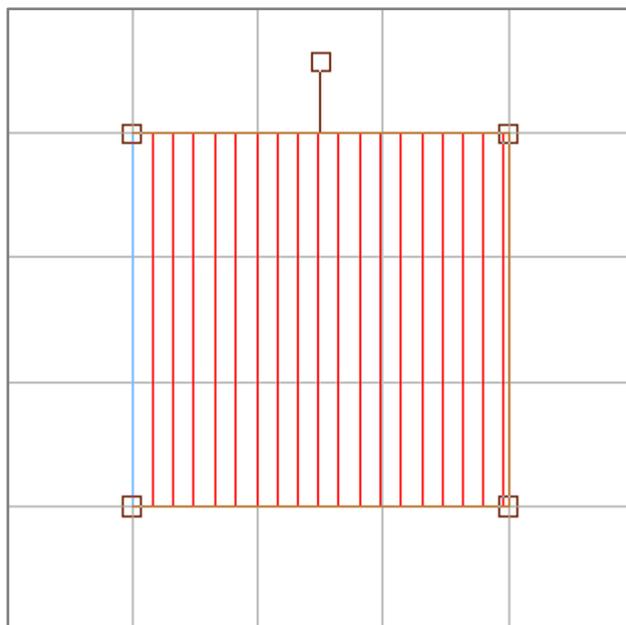
* 入力したハッチングが赤く選択された状態になります。

- ② ハッチングアイコンにマウスを合わせ、

 (ハッチング分解)をクリック

* 入力したハッチングパターンが分解されます。

* 「作図」⇒「ハッチング」⇒「ハッチング分解」と選択してもかまいません。



● ハッチングパターンを登録

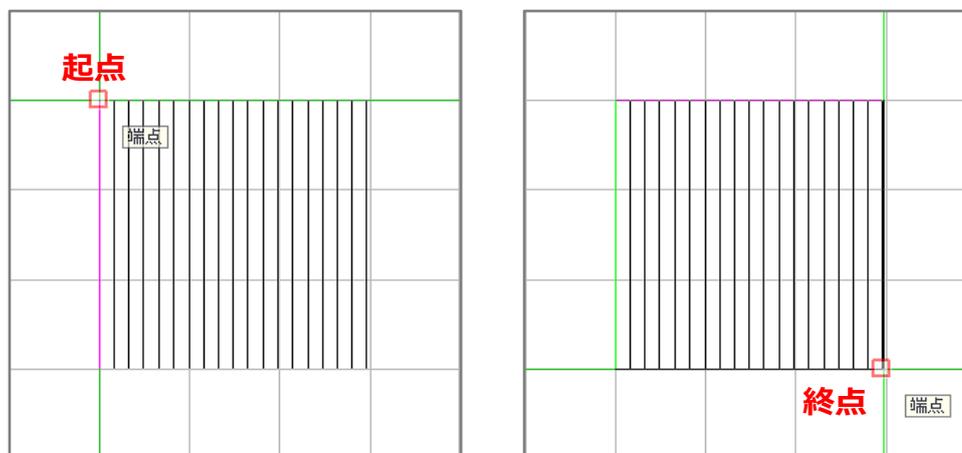
- ① ハッチングアイコンにマウスを合わせ、 (パターン登録)をクリック

* 「作図」⇒「ハッチング」⇒「パターン登録」と選択してもかまいません。

- ② ポイントモードを  (オンエッジ)に変更

- ③ ハッチングの繰り返し範囲を、対角2点の矩形で指定

* ここでは、起点—終点をハッチングの一番外側の線の端点にそれぞれとります。

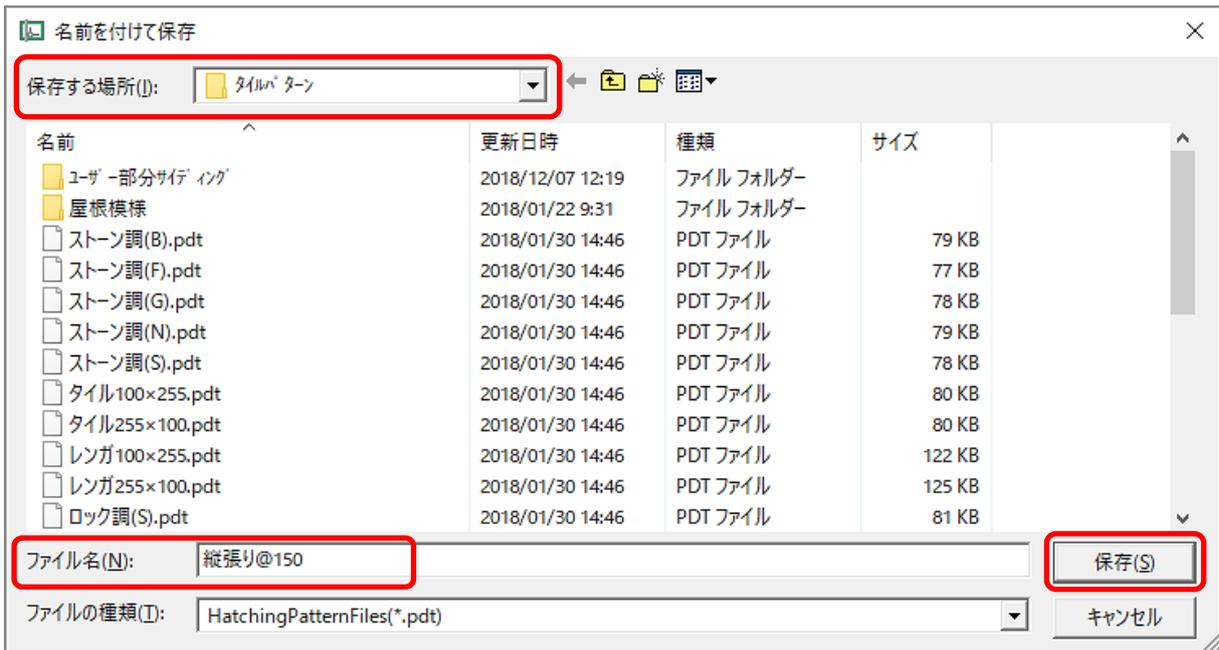


* 指定した矩形範囲が正確に繰り返されますので、過不足のないように指定してください。

* 繰り返し範囲を指定すると、名前を付けて保存の画面が表示されます。

④ ファイル名を入力し、「保存」をクリック

* ここでは、ファイル名は「縦張り@150」とし、「¥A's¥EXES¥タイルパターン」に保存します。



* ハッチングパターンの初期読み込みフォルダが、「¥A's¥EXES¥タイルパターン」です。

* 登録したパターン（PDT ファイル）を上記フォルダに保存することにより、部分サイディングのハッチングに利用できます。

操作手順② 外部意匠配置での部分サイディング登録方法

① (クイックメニュー)またはメインメニューから、 (外部意匠)をクリック

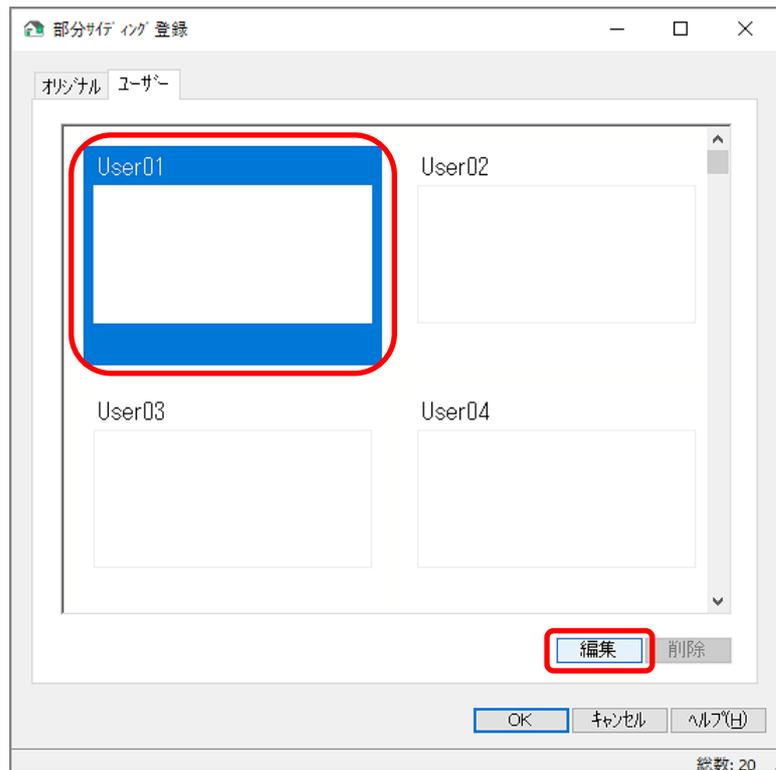
② 「設定」⇒「部分サイディング登録」をクリック

* 部分サイディング登録の画面が表示されます。



③ ユーザータブの「User01」～「User20」のいずれかの枠をクリック

- * 選択したユーザー番号が青く選択されます。
- * 20種類の登録が可能で、登録は順番でなくてもかまいません。
- * 登録済みの枠を選択した場合は、上書きの変更になります。

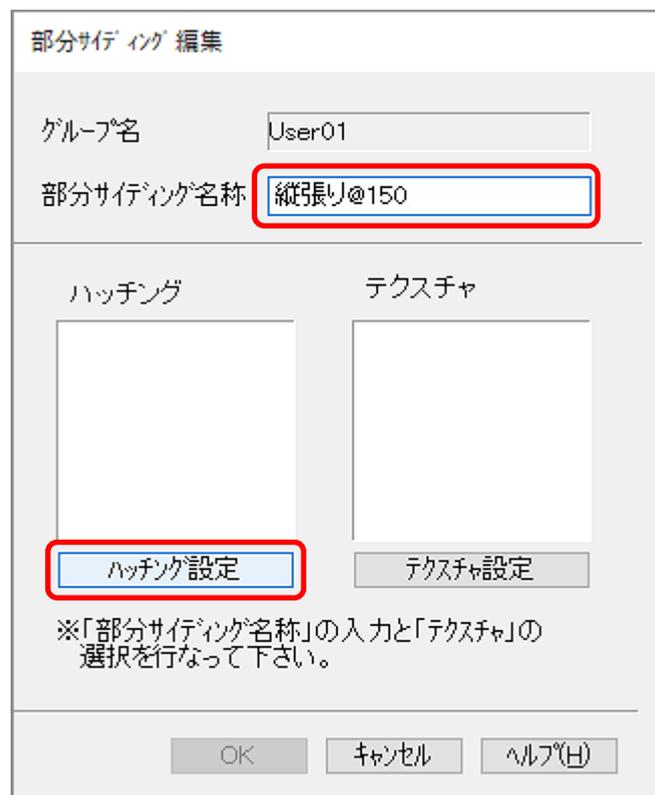


④ 「編集」をクリック

- * 枠をダブルクリックしてもかまいません。
- * 部分サイディング編集の画面が表示されます。

⑤ 部分サイディング名称を入力

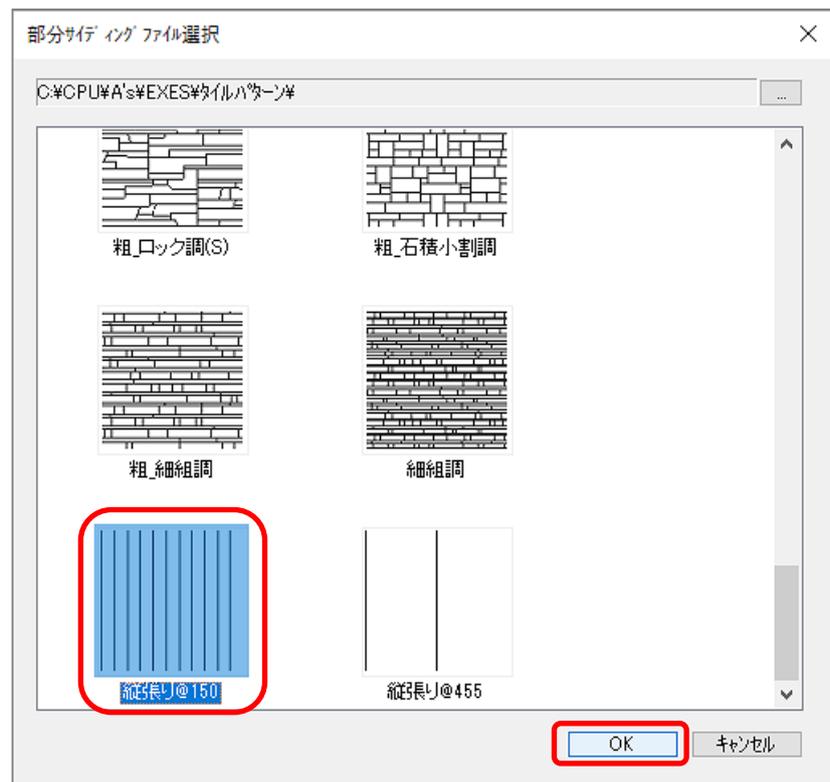
- * ここでは、「縦張り@150」と入力します。



⑥ 「ハッチング設定」をクリック

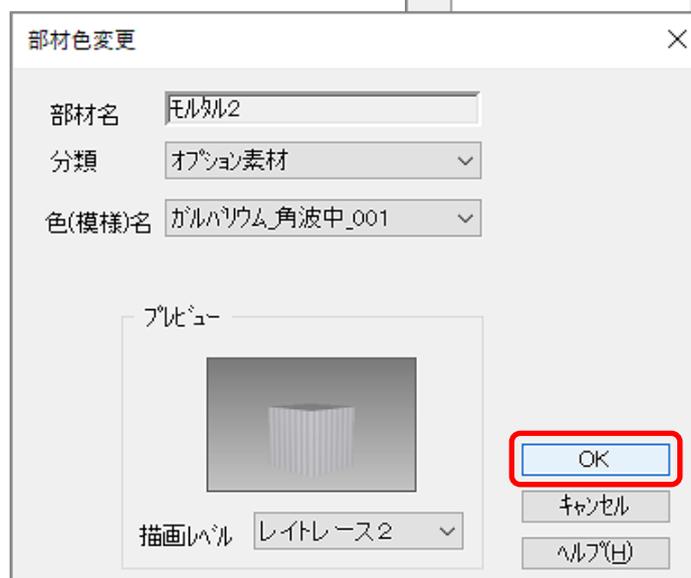
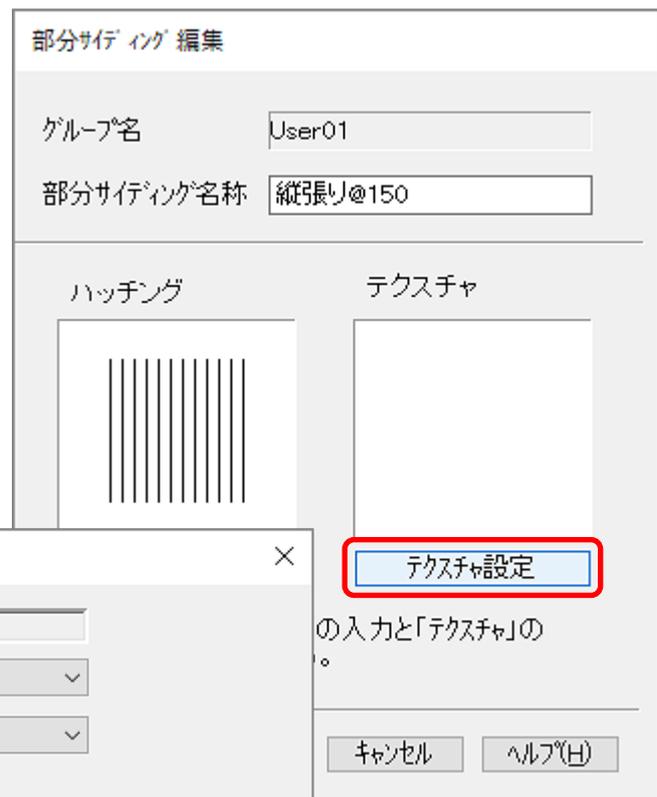
- * 部分サイディングファイル選択画面が表示されます。

- ⑦ 図面編集で登録したハッチングパターン「縦張り@150」を選択し、「OK」をクリック
- * ハッチングに「縦張り@150」が設定されます。



- ⑧ 「テクスチャ設定」をクリック
- * 部材色変更の画面が表示されます。

- ⑨ テクスチャを選択し、「OK」をクリック
- * ここでは、分類を「オプション素材」、色(模様)名を「ガルバリウム_角波中_001」としています。
 - * テクスチャに「ガルバリウム_角波中_001」が設定されます。

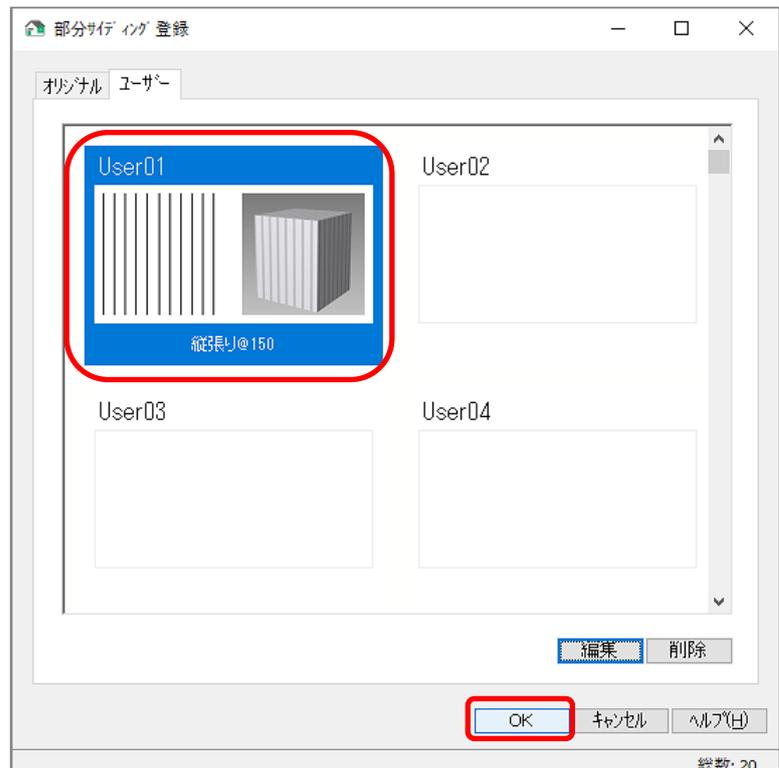


⑩ 「OK」をクリック

- * 部分サイディング編集画面が閉じ、部分サイディング登録に「縦張り@150」が追加されます。

⑪ 部分サイディング登録に追加されたことを確認後、「OK」をクリック

- * 指定したユーザー番号に、登録されます。



⑫ (部分サイディング)をクリックし、「ユーザー」に切り替え確認

- * 部分サイディングの選択画面が表示されます。
- * 「ユーザー」の「名称」から、登録したハッチングが選択できるようになります。

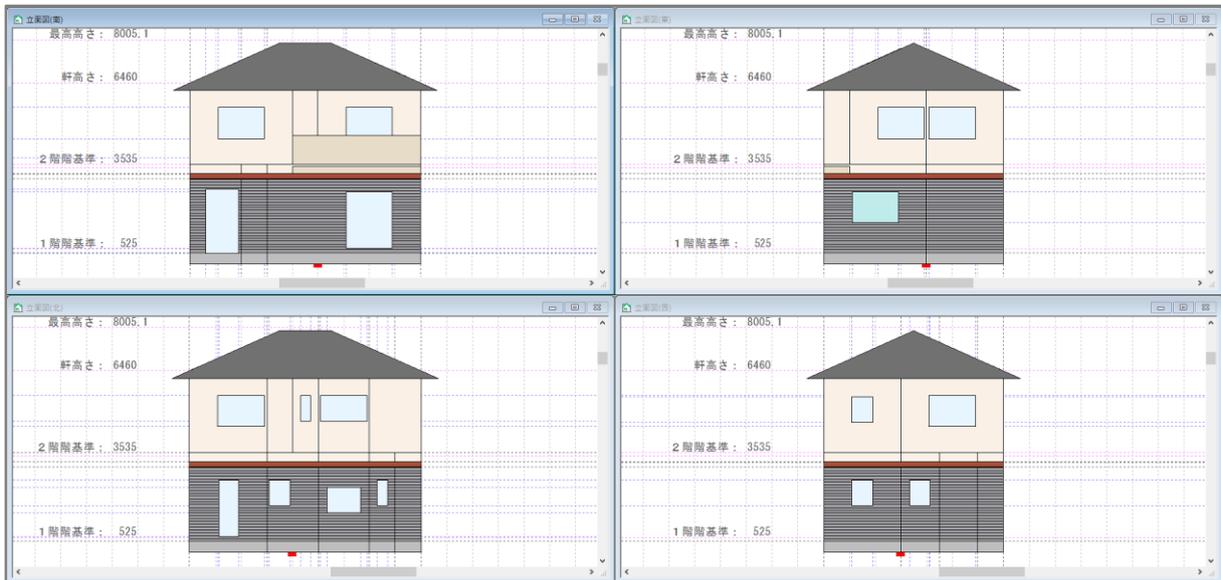


⑬ 追加登録したハッチングを配置し、 (立面図)や (3D パース)の線画で確認

* 部分サイディングの配置方法については、こちらをご覧ください。

[\[1063\] 外壁を張り分ける方法](#)

[\[1065\] 部分サイディングの配置方法 \(平面モードの利用\)](#)



<南立面図・東立面図>



* パースを線画として出力する方法については、こちらをご覧ください。

[\[1051\] パースを線画で出力する方法](#)

パースの線画出力は、「1/100 平面図」機能が含まれるシステムで行えます。